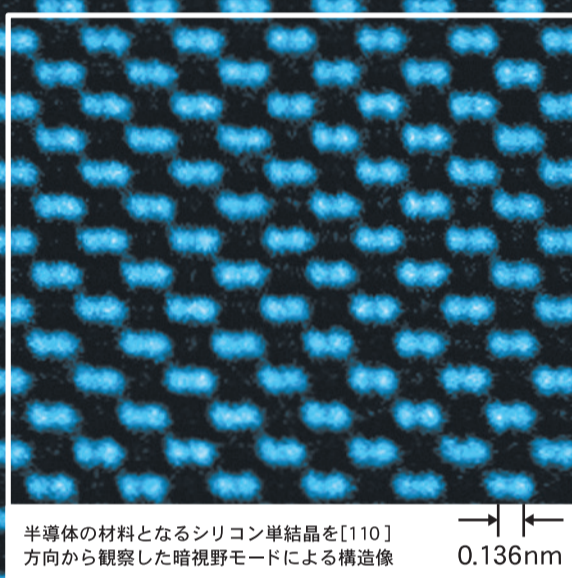


そのスペックが、日立ハイテクなんだね。

#04: 走査透過電子顕微鏡 HD-2700



見えないものをもっと見るために、精緻な電子の目をつくった。  
 球面収差補正機能<sup>※1</sup>で0.14nm<sup>ナノメートル</sup>の高分解能、高速・高感度EDX分析<sup>※2</sup>。

※1 球面収差補正機能: 電子顕微鏡の電磁レンズで不可避な解像度の低下(球面収差)を、凹レンズとして作用する多重極レンズを導入して改善する機能  
 ※2 EDX分析: 電子線照射によって発生する元素に固有なX線を検出して、試料の同定や定量を行う分析

球面収差補正機能搭載で、高分解能観察・多機能分析を実現。

### 日立走査透過電子顕微鏡 HD-2700

物質表面と内部の微細構造の観察、さらに各種元素分析を行える多機能分析電子顕微鏡として、半導体をはじめとするナノテク分野で高い評価を得てきた、日立走査透過電子顕微鏡HDシリーズ。その最高峰として開発されたHD-2700は、これまで性能上の制約だった球面収差の高度な補正機能を搭載し、高分解能観察(DF-STEM像0.14nm保証)、高速・高感度分析(プローブ電流約10倍<sup>※</sup>)を実現。またGUIや各種自動調整機能も搭載し、優れた操作性を獲得しています。  
 ※当社従来機比



日立ハイテクが大切に考える「新しい選択肢」の提示。半導体の精緻化に伴い、走査電子顕微鏡(SEM)以上の高性能・高分解能を実現しながら、透過電子顕微鏡(TEM)ほど高価格・難操作ではない、そんな装置を求める声が半導体メーカーから届きました。それに応じて開発した「新しい選択肢」が、走査透過電子顕微鏡(STEM)HD-2700です。日立ハイテクは今後もこうした「新しい選択肢」を積極的に提案、大きな流れに育てていきます。

## 最先端を、最前線へ。日立ハイテク

ハイテク開発力 × ハイテク技術力 × ハイテク商社力 → ハイテクソリューション

→ <http://www.hitachi-hitec.com/em/tem/hd2700.html>